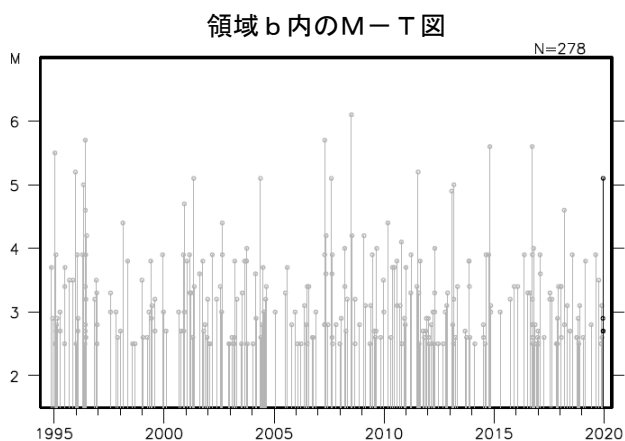
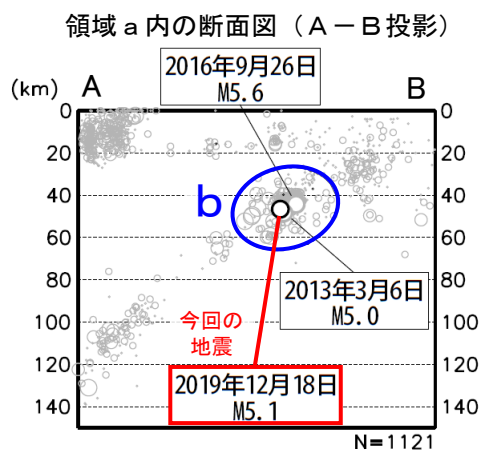
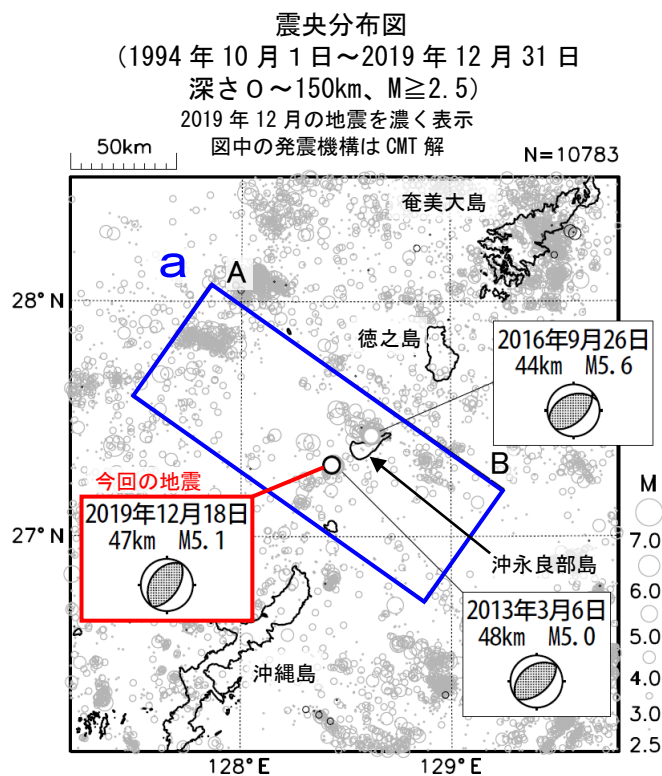


12月18日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震



2019年12月18日08時35分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ47kmで $M5.1$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では $M5.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、近年では2016年9月26日に $M5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生している。また、震源の近傍では2013年3月6日に $M5.0$ の地震（最大震度4）が発生している。

1973年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2008年7月8日に $M6.1$ の地震（最大震度5弱）が発生し、鹿児島県与論町（与論島）のホテルの壁の一部破損や柱の石膏ボード破損の被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図
(1973年1月15日～2019年12月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.5$)

